

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
土屋中学校



<p>＜学校教育目標＞</p> <p>「夢に向かって」 ～自分の将来に夢や希望を持って生活できる生徒の育成～</p>	
<p>＜目標とする学校像＞</p> <p>＜希望あふれる学校＞ ・生徒が輝く学校 ・生徒を育む学校 ・活気のある学校</p>	
<p>＜目標とする生徒の姿＞</p> <p>＜ひろい心、すこやかな体、ゆたかな創造力＞ ・自他のよさがわかる生徒 ・明るくたくましい生徒 ・支え合い高め合う生徒</p>	

■所在地：さいたま市西区大字土屋 1 7 6 6 - 1 ■電話：048-622-4611
■FAX：048-624-2135 ■交通：JR 川越線指扇駅徒歩 15 分

01 17の目標に対する生徒の主体的な取組



本校3学年では、さいたま市都市経営戦略部の講演から学習をスタートしました。各生徒がいずれかの目標の担当者となり、3学期に「未来への提案を行う」を目標に活動をしました。1学期はタブレットを使用し、SDGsの達成度スコアが高い国や日本での取組を調べてまとめ、パワーポイントで発表しました。夏休みには身近でできるSDGs

の取組を考え、実際に挑戦し、レポートを書きました。2学期は、JICA などが刊行している教材を利用し、同世代の子どもや貧困の状態を具体的に理解する活動を中心に世界に目を向けました。ALT や外国で生活した経験のある教員から話を聞く時間も取り、異文化について理解を深めました。3学期は「未来への提案書」を短冊形にまとめ、SDGsの達成に向けた具体的な内容を口頭で発表しました。SDGsについて理解を深める中で身近な活動に目を向けられるようになり、自分事として捉えられるようになりました。



02 「誰もが住みやすい街づくり」



本校 2 学年では、総合的な学習の時間に「誰もが住みやすい街づくり」の提案を行いました。導入として、本年度東京パラリンピックが行われたことから、「パラリンピックの競技」についての調べ学習を行ったり、実際に出場したことがある選手の講演を聞いたりしました。身近なものごととして捉えることで興味関心をもって学習に臨むことができました。学校や駅、スーパーなど、具体的な場所を例に、視覚、聴覚、肢体不自由などの方に向けて、どのような暮らしやすい工夫がされているのかや、逆にバリアフリーが進まない理由などを調べて、発表を行いました。

03 地球全体の環境問題



本校 1 学年では、社会の授業で“世界の諸地域”について学習した際に、日本と同じ島国である「ツバル」が直面している「海面上昇による水没」の問題について扱いました。水につかりながら環境問題について演説する様子や、満潮になるだけで生活する場所が水浸しになる様子などを見て、生徒は衝撃を受けるとともに、地球温暖化の影響で深刻な被害を受けていることを学習しました。地球温暖化について自分たちの身近な生活が、地球全体の環境問題に関わることを知り、今自分たちにできることについて考える学習を行いました。